

第 3 1 回

日大山形高等学校杯争奪中学柔道大会実施要項

- 1 主 催 日本大学山形高等学校柔道部桜樹会
- 2 後 援 山形市教育委員会・日本大学山形高等学校・日本大学山形高等学校柔道部父兄会
- 3 日 時 令和元年12月7日(土)午前9時開会
※ 午前8時30分から体育館2階で監督・審判会議を行います。
- 4 会 場 山辺町武道館 ☎990-0300 山辺町緑ヶ丘1番地 ☎023-664-7263
- 5 参加資格 (1) 山形市内にある中学校、近隣の市町村及び出場を希望する柔道競技を部活動の一環として実施している中学校とする。
(2) チーム編成
ア 男子 監督1名、コーチ1名、選手5名、補欠2名の9名
イ 女子 監督1名、コーチ1名、選手3名、補欠2名の7名
(但し、監督は男子・女子を兼ねることができる。)
ウ チーム編成は、男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。
交代の選手と入れ替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。
※選手変更は、基本的に前試合開始までに所定の場所にて受け付ける。
エ 同一チームで団体戦が組めない場合は、合同チームでの出場を認める。
- 6 競技規則 国際柔道連盟試合審判規定・少年大会特別規定による。
 - (1) 試合方法
ア 男子は予選リーグを行い、各リーグ1位のチームでトーナメント戦を行う。トーナメントの対戦は予選リーグ終了後抽選とする。
イ 女子は、トーナメント戦とする。
ウ 勝敗は、山形県中学校大会(団体戦)に準じて行う。
エ 試合時間は、男子予選リーグ戦は2分30秒、男子トーナメント戦・女子トーナメント戦は3分とする。代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
 - (2) 勝敗の判定基準
ア 勝ちの基準は、「技あり」以上又は「僅差(『指導』の差2)」とする。
イ 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。
「一本」＝「反則勝ち」>「技あり」>「僅差」
 - (3) リーグ方式では、チーム間の内容が同等の場合は引き分けとする。また、リーグ方式の順位は次の方法によって決定する。
ア チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
イ アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。
ウ イにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。

エ ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。

オ エにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。

カ オにおいて同等の場合は、1名による代表戦を1回行い、決勝トーナメント方式への出場チームを決定する（3校同等の場合は、代表者3名によるリーグ方式を行う）。

(2) トーナメント方式の勝敗は、次の方法によって決定する。

ア チーム間における勝ち数による。

イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。

ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。

※代表戦は「引き分け」の選手から抽選で1組を選び、時間無制限によるゴールデンスコア方式によって勝敗を決する。（先に「有効」以上の技評価を得た選手が勝ちとなり、先に「指導」を与えられた選手が負けとなる。

7 組合せ 主催者側が中体連関係者と協議し、責任をもって行う。

8 参加申込 別紙申込み用紙により、下記宛てに申し込むこと。併せて、メールによる電子データでも申し込むこと（ファイルは山形県柔道連盟のHPからダウンロードをお願いします）。

〒990-0303 東村山郡山辺町清水1番地1 電話090-1068-6259

E-mail taku_ymgtjd@yahoo.co.jp

日大山形高等学校柔道部桜樹会事務局 高橋拓也 宛

9 申込締切 令和元年11月20日(水)午後5時必着(プログラム作成上厳守してください。)

10 表彰 男子・女子とも第3位まで表彰する。

11 脳しんとう対応については以下のとおりとする。

(1) 大会前1ヶ月以内に脳しんとうを受傷した選手は、脳神経外科医の診察を受け出場許可を得ること。（書面で提出）

(2) 大会中、脳しんとうを受傷した選手は、継続して当大会に出場することは不可とする。なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。

(3) 当該選手の監督は大会事務局及び全柔連に対し、適宜の様式で書面により「事故報告書」を提出すること。

12 その他 主催者側で少額の傷害保険に加入しておりますが、不慮の事故に備え、各チームの選手は、傷害保険等に必ず加入し出場のこと。

13 参加料 男子 1チーム 3,000円 女子 1チーム 2,000円

※ 参加料は当日受付で徴収します